

アジア発 OSS 新時代に向けて (OSS New Era from Asia)

2003 年 11 月 14 日 於 大 阪

JISA (情報サービス産業協会)

CSIA (中国ソフトウェア産業協会)

FKII (韓国情報産業連合会)

1. 日本、中国、韓国の IT サービス産業は、各国において OSS(Open Source Software)の推進組織の設立を進め、日中韓 OSS 推進パートナーシップ(仮称)を創設し、三国の推進組織の活動を連携させる。
2. 三国の推進組織は、具体的なアクションプランを早急に策定することが期待される。
 - (1) 三国間の協力を加速化するために、各国の OSS に関するあらゆる活動が容易に理解されるようなディレクトリー (“OSS know-who list”)を策定する。
 - (2) 具体的な協力作業を加速化するために適切なWG、例えば、標準化WG、組込みWG、運用管理・サポート・ビジネスモデルWG、人材WGなどを設立する。
3. 三国の IT サービス産業は、OSS の品質を保証し、改善するために、政府が OSS を調達することを強力に提言する。
4. 来年以降、三国間の協力プロセスを加速する。日中韓 OSS 推進パートナーシップの活動が、2004 年の 3 月 (北京)、7 月 (札幌 (暫定))、11 月 (ソウル)に行われることを希望する。